

効率化と
正確性を
どう両立するか

「棚卸」の 上手な進め方

第1章

代行会社に任せきりにしない
実地棚卸のアウトソーシングの
ポイント

第2章

監査側の対応も考えておく
循環棚卸の意義と方法

第3章

決算早期化にも一役？
循環棚卸導入の際の検討事項

第4章

特徴を踏まえた資産台帳を整備する
固定資産棚卸のポイント

特に小売業においては、24時間営業の増加、効率化による店舗内の人員削減、三六協定による労働時間管理など、さまざまな要因から決算日に従業員が棚卸を行うことが難しくなっている。小売業に限らずそのような状況にある企業の注目を集めるのは、「アウトソーシング」と「循環棚卸」。しかし、効率性だけではなく正確性も担保した、適切な棚卸であることが大切。そこで、本来の目的から実施のポイントまで、上手な進め方を整理してもらった。